

第29期 中間決算のご案内

# 株主通信

2024年3月1日▶2024年8月31日

株式会社スーパーバリュー  
<https://www.supervalue.jp/>

証券コード:3094

## 株主の皆様へ

To Our Shareholder

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。当社は第29期中間期（2024年度）の営業を終了いたしましたので、ここに経営状況をご報告させていただきます。

当中間期における国内外経済は、原材料価格の高騰や急激な為替変動などにより先行き不透明な状況が続きましたが、当社は中期事業計画に基づき、「業績改善に向けて全社で抜本的な改革を確実に実行する」ことをテーマに全社一体となり取り組んでまいりました。

主に、親会社である株式会社OICグループの子会社で食品スーパーマーケットの運営等を行う株式会社ロピアとのシナジー効果の早期発揮に向けて様々な取り組みを進めております。既存店においては、ロピアのプライベート・ブランド商品、プロセスセンター商品の導入、及び仕入れ先様の共有化を積極的に進め、また、ロピアの最新店舗をモデル店とした改装店舗については、売上高のトップライン

を大幅に上げることにより、粗利率を低く抑えても利益を出せる収益構造に変換できるモデル店の構築を進めてまいりました。

加えて、不採算店舗等についても、抜本的な対策に取り組んでまいりました。

今後におきましては、事業再生への取り組みを一層強化し、改革のスピードを更に上げることにより、来期からの業績改善を確実なものにし、企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月



代表取締役 執行役員社長

**内田 貴之**

## 経営理念

顧客支持 No.1 店舗の拡大と維持

モットー

- お客様第一主義の徹底
- よい商品をより安く
- 顧客満足度の高いサービスの提供

## 企業理念

- 生活に豊かさと利便性をもたらす店舗展開による地域社会への貢献
- コンプライアンスの徹底およびCSR(企業の社会的責任)への取り組み
- ステークホルダー(顧客・株主・取引先・従業員)への利益還元

## 店舗展開 (2024年11月1日現在)

合計 **27** 店舗**13** 店舗

- ▶ 都市型スーパーセンター (SM+HC複合店) 4店舗
- ▶ 食品スーパー (SM) 8店舗
- ▶ 卸売パワーセンター 1店舗

**11** 店舗

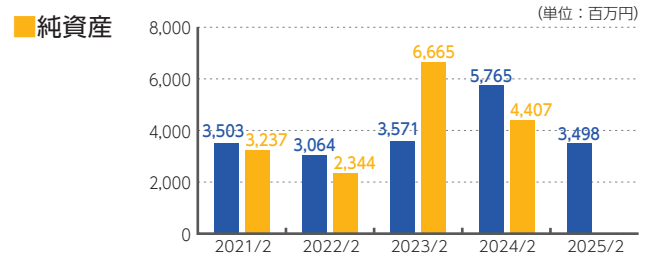
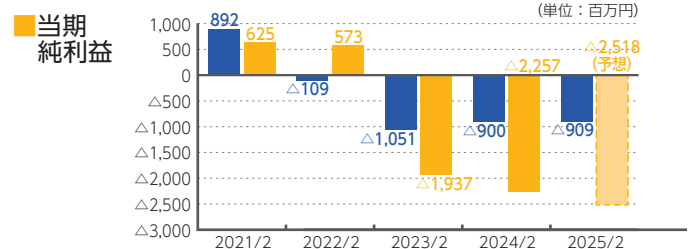
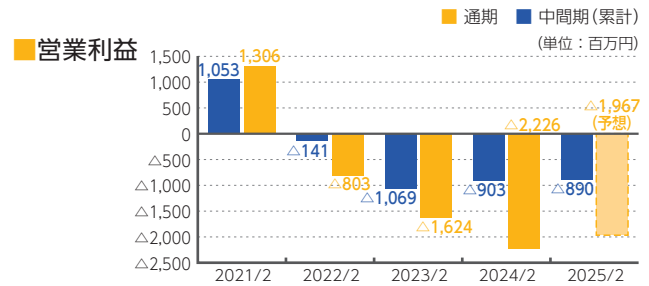
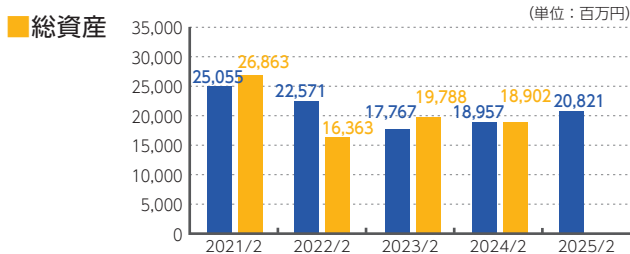
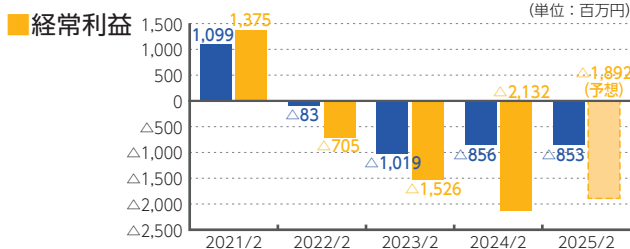
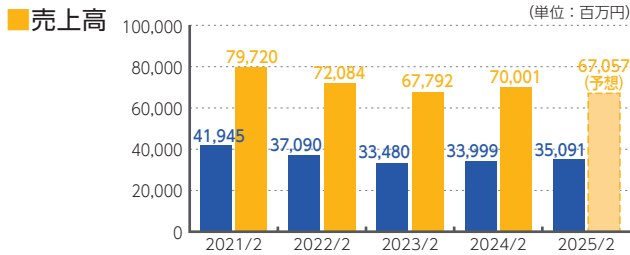
- ▶ 都市型スーパーセンター (SM+HC複合店) 5店舗
- ▶ 食品スーパー (SM) 6店舗

**3** 店舗

- ▶ 都市型スーパーセンター (SM+HC複合店) 1店舗
- ▶ 食品スーパー (SM) 2店舗

# 決算情報

## Financial Highlights



## 営業概況

当中間会計期間におきましては、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移し、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移する等、緩やかな回復が続きました。このような中、ウクライナ情勢の長期化等による原材料・エネルギー価格の高騰に加え、円安基調だった円相場は、日本の金融政策の変更等により戻りつつあるものの、株式市場の乱高下もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、個人消費の持ち直しやインバウンド需要等の回復が見られ、実質賃金がプラスに転じたものの、他業種も含めた価格競争に加え、光熱費等の上昇や商品メーカー等の相次ぐ値上げによる販売価格への転嫁等に伴い、消費者の低価格・節約志向の高まり等から、業績に与える影響は不透明な状況となっており、これまで以上に厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社では「よい商品をより安く」をモットーに、販売価格にメリハリをつけ、集客及び売上高の回復に取り組んでまいりました。また、ロピアとのシナジー効果の早期発揮に向けて様々な取り組みを引き続き進めてまいりました。

売上高については、SMではEDLPを展開しつつ、販売価格をコントロールし集客及び売上高の回復に努め、ロピアとの共同開発の改装モデル店を松原店で実施いたしました。同店の改装に伴う臨時休業に加え、不採算店舗等対策として閉店した朝霞泉水店、上尾小泉店及び荒川一丁目店や松戸五香店のホームセンターの、閉店に伴うセール及び異常気象による猛暑やゲリラ雷雨等の影響がありましたが、前期にリニューアルオープンした改装モデル店の6店舗を中心にSM商品販売の売上高が伸長した結果、売上高は前年同期比103.2%となりました。

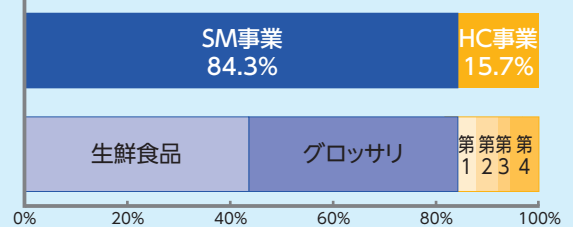
利益面では、円安等による仕入原価等の上昇等もある中、生鮮の精肉・鮮魚は、ロピアの加工センターから、青果は、ロピアと共同でロピアのグループ会社から供給を拡大し、安定供給及び原価低減を進め、グロッサリーは、ロピアのプライベート商品の直接仕入の拡大を促進し、ロピアとの商品仕入先の共有等による商品仕入先等の見直しを継続して進め、利益改善に取り組みましたが、閉店に伴うセール等により、売上総利益率は前年同期比で0.3ポイント下回る20.0%となりました。なお、改装モデル店では会員カードのポイント付与を廃止し収益改善に取り組みしました。

経費面では、店舗オペレーションの再度の見直しによる作業効率の改善と標準化を進め、徹底した経費節減に取り組み、一部店舗ではクレジット決済を廃止しましたが、光熱費等の高騰や経営及び業務指導料の発生等により、販売費及び一般管理費は前年同期比102.1%となりました。

以上の結果、売上高は350億91百万円(前年同期比3.2%増)、営業損失は8億90百万円(前年同期は営業損失9億3百万円)、経常損失は8億53百万円(前年同期は経常損失8億56百万円)となりました。また、店舗閉店に伴う固定資産除却損及び店舗閉鎖損失を特別損失に1億74百万円計上したことにより、中間純損失は9億9百万円(前年同期は中間純損失9億円)となりました。

当社の事業セグメントは、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであります。販売商品別の売上高は、生鮮・グロッサリーのSMは295億96百万円(前年同期比105.1%)、ホームセンターは54億95百万円(前年同期比93.9%)であります。

## 品目別売上高構成比



	売上高 (単位:百万円)	構成比
生鮮食品 (青果、精肉、鮮魚、惣菜)	15,336	43.7%
グロッサリー (加工食品、米、酒、日配品)	14,259	40.6%
<b>SM事業 計</b>	<b>29,596</b>	<b>84.3%</b>
第1グループ (日曜大工用品、園芸用品など)	1,204	3.4%
第2グループ (ペット用品、レジャー用品など)	1,530	4.4%
第3グループ (家電製品、インテリア用品など)	817	2.3%
第4グループ (家庭・日用雑貨、文具など)	1,943	5.5%
その他 (切花など)	0	0.0%
<b>HC事業 計</b>	<b>5,495</b>	<b>15.7%</b>
<b>売上高合計</b>	<b>35,091</b>	<b>100.0%</b>

\*収益認識会計基準を適用しております。



# 決算情報

## Financial Highlights

(単位：百万円)

貸借対照表	前事業年度末 2024年2月29日	当中間 会計期間末 2024年8月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,273	9,798
固定資産	11,628	11,023
有形固定資産	7,623	7,454
無形固定資産	197	159
投資その他の資産	3,807	3,409
<b>資産合計</b>	<b>18,902</b>	<b>20,821</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,691	13,471
支払手形及び買掛金	5,416	7,993
短期借入金	3,540	3,197
固定負債	3,802	3,851
長期借入金	2,160	2,002
<b>負債合計</b>	<b>14,494</b>	<b>17,322</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,399	3,490
資本金	3,513	3,513
資本剰余金	3,422	3,422
利益剰余金	△2,535	△3,444
自己株式	△0	△0
新株予約権	8	8
<b>純資産合計</b>	<b>4,407</b>	<b>3,498</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,902</b>	<b>20,821</b>

(単位：百万円)

損益計算書	前中間会計期間 2023年3月1日～ 2023年8月31日	当中間会計期間 2024年3月1日～ 2024年8月31日
<b>売上高</b>	<b>33,999</b>	<b>35,091</b>
売上原価	27,120	28,085
売上総利益	6,878	7,006
営業収入	197	250
営業総利益	7,075	7,256
販売費及び一般管理費	7,979	8,147
<b>営業損失(△)</b>	<b>△903</b>	<b>△890</b>
営業外収益	69	65
営業外費用	22	27
<b>経常損失(△)</b>	<b>△856</b>	<b>△853</b>
特別利益	0	155
特別損失	5	174
<b>税引前中間純損失(△)</b>	<b>△861</b>	<b>△872</b>
法人税、住民税及び事業税	38	37
法人税等調整額	△0	△0
<b>中間純損失(△)</b>	<b>△900</b>	<b>△909</b>

(単位：百万円)

キャッシュ・フロー 計算書	前中間会計期間 2023年3月1日～ 2023年8月31日	当中間会計期間 2024年3月1日～ 2024年8月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△133</b>	<b>4,067</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△570</b>	<b>84</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△76</b>	<b>△554</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△780</b>	<b>3,597</b>
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>4,047</b>	<b>6,278</b>

### 財政状態

**資産**／当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ19億19百万円増加（10.2%）し、208億21百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加、商品の減少及び差入保証金の減少によるものであります。

**負債**／負債は、前事業年度末に比べ28億28百万円増加（19.5%）し、173億22百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

**純資産**／純資産は、前事業年度末に比べ9億9百万円減少（△20.6%）し、34億98百万円となりました。この主な要因は、中間純損失の計上額9億9百万円によるものであります。

### キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、40億67百万円（前年同期に使用した資金は1億33百万円）となりました。これは主に、税引前中間純損失8億72百万円、棚卸資産の減少額9億27百万円、仕入債務の増加額25億77百万円及び未払消費税等の増加額4億63百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、84百万円（前年同期に使用した資金は5億70百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億2百万円、有形固定資産の売却による収入1億68百万円及び差入保証金の回収による収入2億66百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△5億54百万円（前年同期に使用した資金は76百万円）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額4億20百万円によるものであります。

これらの結果、当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、62億78百万円となりました。

## トピックス

### Topics

#### ■松戸五香店が生まれ変わりました！

9月25日（水）にスーパーバリュー松戸五香店が、リニューアルオープンを行いました。

株式会社OICグループの関連会社となり、松戸五香店で8店舗目の改装となりました。これまでのスーパーバリューの「よいところ」、ロピアの「よいところ」を融合させた売場編成となりました。

また、ホームセンターフロアには、コーナンさんが同時オープンを行いました。

オープン初日から、たくさんのお客様がご来店されました。地域にお住いのお客様に改めて感謝申し上げます。

これより年末商戦を迎えます。

一人ひとりのお客様を大切に、企業理念にあります「顧客支持NO.1店舗の拡大と維持」を念頭に、ご満足のいただける商品創りと、ご提供ができるよう心掛けてまいります。



# 会社情報 (2024年8月31日現在)

## Corporate Data

### 会社概要

商号	株式会社スーパーバリュー
本社	〒362-0034 埼玉県上尾市愛宕三丁目1番40号 TEL: 048-778-3222 (代) FAX: 048-778-3324
設立	1996年3月18日
創業	1996年7月21日
資本金	35億1,364万円
主たる事業	食品スーパーとホームセンターを併設した複合型小売店舗及び、食品スーパー単独の小売店舗の経営
従業員数	正社員: 341名 契約・嘱託社員、パート及びアルバイト: 1,759名 (8時間換算) ※2024年8月31日現在
主要取引銀行	三菱UFJ銀行／三井住友銀行／武蔵野銀行／ 埼玉りそな銀行／みずほ銀行／群馬銀行／ 足利銀行／商工中金

### 役員

代表取締役 執行役員社長	内田 貴之
常務取締役 執行役員	中谷 圭一
取締役 執行役員	佐藤 博和
取締役 (社外)	稲田 将人
取締役 (社外)	成相 宏治
取締役 (社外)	宮武 孝治
常勤監査役	梶山 健二
監査役 (社外)	小森谷 繁行
監査役 (社外)	持田 良夫
顧問 (常勤)	岸本 圭司

# 株式関連情報 (2024年8月31日現在)

## Stock Information

### 株式の状況

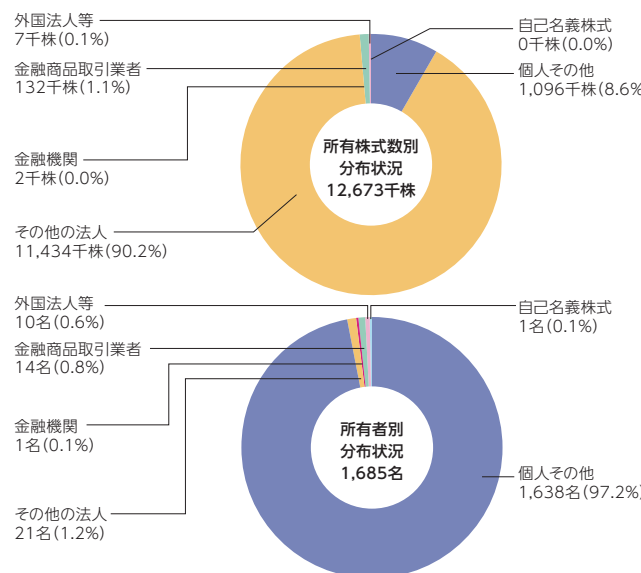
発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式総数	12,673,750株
株主数	1,685名

### 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社OICグループ	8,440,250	66.60
有限会社ライト経営	2,119,800	16.73
株式会社JMホールディングス	576,400	4.55
株式会社サンベルクス	228,000	1.80
スーパーバリュー従業員持株会	138,990	1.10
法人株主	80,128	0.63
個人株主	78,000	0.62
個人株主	44,400	0.35
個人株主	32,000	0.25
個人株主	29,700	0.23

※ 持株比率は、自己株式を除く、発行済み株式の総数に対する所有株式数の割合。

### 株式分布状況



### 株主メモ

決算期	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
株主配当金	毎年2月末日の株主名簿に記録された株主様又は登録質権者にお支払いいたします。
中間配当金	実施する場合には、毎年8月31日の株主名簿に記録された株主様又は登録質権者にお支払いいたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-232-711 (通話料無料)
ホームページURL	<a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います (URL: <a href="https://www.supervalue.jp/ir/">https://www.supervalue.jp/ir/</a> )。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	3094

#### 【株式に関する住所変更等の

#### お届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、三菱UFJ信託銀行ではお手続きができませんので、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社の口座をご利用されていない株主様は、左記の電話照会先までご連絡ください。

### IRサイトのご案内

当社ホームページ内の“企業情報”に、当社の最新IR情報を掲載しております。ぜひご活用ください。

ホームページURL <https://www.supervalue.jp/ir/>

### ◆お問い合わせは、下記まで◆

#### 株式会社スーパーバリュー

〒362-0034 埼玉県上尾市愛宕三丁目1番40号

バリュープラザ上尾愛宕店2階

TEL: 048-778-3222(代) E-mail: [ir@supervalue.co.jp](mailto:ir@supervalue.co.jp)